学校番号	

令和８年度　情報科

教科	情報科	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「情報 II」（実教出版）						
副教材等	情 II702　情報 II 学習ノート（実教出版） プログラムのつくりかた Python 入門編 Lv.0／基礎編 Lv.1（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報Ｉで学んだことをもとに、深く学ぶ科目です。
実際に触れることで、理解を深めていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目剤，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについては，情報に関する法規や制度及びマナー，個人 が果たす役割や責任等について，情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに，問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマナーを守ろうとする態度，情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い，これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会 に主体的に参画する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報社会	情報社会の進展 知的活動の変化 情報セキュリティ	a: ・情報社会の変化について理解している。 ・IoT と AI の技術について理解している。 b: ・情報社会の変化について説明することができる。 ・情報技術が進展することによる期待される変化について説明することができる。 ・IoT と AI の技術の利用方法を考えている。 ・情報が不正利用された場合の影響を考えている。 c: ・情報技術が進展することによる社会の変化に興味・関心を示している。 ・知的活動の変化において，人間が果たす役割を考え，その役割に寄与しようとしている。 ・情報セキュリティに関心を持ち，情報セキュリティに対する対策を講じようとしている。	定期考査などのテスト、サブノート、課題	定期考査などのテスト、サブノート、課題	提出物(課題・宿題・レポートなど)
		クラウドサービスの利用 法制度の整備 コミュニケーションの多様化 コンテンツの作成	a: ・クラウドサービスの発展について理解している。 ・情報セキュリティに関する法整備について理解している。 b: ・クラウドサービスの形態ごとの特徴を理解し，状況に合わせて選択できる。 ・情報セキュリティに関する法整備に基づいて情報セキュリティを判断しようとしている。 c: ・情報セキュリティに関心を持ち，情報セキュリティに対する対策を講じようとしている。	定期考査などのテスト、サブノート、課題	定期考査などのテスト、サブノート、課題	提出物(課題・宿題・レポートなど)

		コミュニケーションの多様化 コンテンツの作成	a: ・インターネットで提供されるサービスとコミュニケーションの特徴について理解している。 ・コンテンツ制作の流れを理解している。 b: ・コミュニケーションにおいてサービスを効果的に活用することについて考えている。 ・よりよいコンテンツになるように，工夫しようと試行している。 c: ・全体の見通しを持ってコンテンツを作成しようとしている。 ・よりよいコンテンツになるように，適切に運用・改善しようとしている。	定期考査などのテスト、サブノート、課題	定期考査などのテスト、サブノート、課題	提出物（課題・宿題・レポートなど）
2	データサイエンス	データサイエンスと社会 データの分析 統計的推測 さまざまな分析	a: ・データサイエンスの要素技術や実社会における応用について理解している。 ・データ分析に基づく問題解決のプロセスについて理解している。 b: ・データ収集におけるバイアスの種類と事例について説明できる。 ・データ収集における誤差の種類と事例について説明できる。 c: ・実社会の実問題に対するデータサイエンス技術の応用に興味・関心を示している。 ・さまざまな統計データを調査し，読み込んだデータを観察することに興味・関心を示している。	定期考査などのテスト、サブノート、課題	定期考査などのテスト、サブノート、課題	提出物（課題・宿題・レポートなど）

	プログラミング	Python	a: ・Python の特徴を理解している。 ・Python のプログラムの文法を理解している。 ・Python のプログラムの文法に従って，正しく記述できる。 b: ・簡単な構造のアルゴリズムを考えてプログラムを作成することができる。 c: ・必要に応じてプロパティも活用しながら，問題解決に適したクラスを定義することができる。	定期考査などのテスト、サブノート、課題	定期考査などのテスト、サブノート、課題	提出物（課題・宿題・レポートなど）
3	情報システム	社会の中の情報システム 情報システムの分類 情報システムの開発	a: ・さまざまな情報システムの仕組みを理解している。 ・クライアントサーバシステムについて事例を挙げて説明することができる。 ・情報システムのさまざまな開発モデルについて理解している。 b: ・さまざまな情報システムの役割を考え，社会生活を便利にしようとしている。 ・情報システムを処理形態による分類で説明することができる。 c: ・情報システムの不具合が及ぼす影響を考え，評価指標を高めるための方法を考えられる。 ・クライアントサーバシステムについて興味・関心を示し，意欲的に取り組んでいる。 ・情報システムの開発手法について興味・関心を示し，意欲的に取り組んでいる。	定期考査などのテスト、サブノート、課題	定期考査などのテスト、サブノート、課題	提出物（課題・宿題・レポートなど）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度